

Local Area News

連合会の今後について 傘下組合員を交えて意見交換を実施 群馬県食肉事業(協)連合会

9月3日、前橋市・K'BIXまえばし福祉会館において、ワークショップを開催した。当連合会では、中央会のイノベーション伴走支援事業を活用し、連合会の今後の具体的な方向性を検討している。今回、連合会傘下の組合員も交えた対話形式の検討会として本ワークショップを実施した。

出席者は3班に分かれ、今の連合会に感じる不満点や良い点、どのような連合会であれば参加するかなどを議論した後、各班の代表者が発表した。連合会の活動について、災害対応や学生と連携した商品開発、ブランドの創出等、様々な視点からの意見が交わされた。

終了後に回収したアンケートでも多くの意見が寄せられたほか、「連合会に所属するメリットを改めて知る機会となった」という声もあった。



活発に意見交換が行われた

団地祭りを7年ぶりに開催

館林金属工業団地(協)

9月5日、館林市・組合事務所の駐車場において、組合員同士の団結、組合員企業の従業員やその家族の慰労を目的に団地祭りを開催した。隔年で開催する恒例行事であったが、コロナ禍により中止が続き、7年ぶりの開催となった。

当日は開会時刻前に雨が止み、涼しい夕方とな

る中、約350人が来場。多田善洋館林市長や関係者などの来賓も訪れた。来場者の中には、家族連れや外国人従業員の姿も多く見られ、出店で買った唐揚げやソフトクリームなどを食べながら、落語・バンド演奏・抽選会などの出し物を観覧し、日ごろの疲れを癒す様子が見られた。



多彩な出し物が
行われた

出店のメニューは
子供達にも人気



合同研修会を実施

群馬県コンクリートブロック事業(協)

9月25日、貸切バスで視察先を巡る合同研修会を実施。本年度は栃木県を訪れ、組合員並びに賛助会員である取引事業者の計25名が参加した。

はじめに宇都宮駅から開業2周年を迎えた宇都宮ライトレールに乗車体験し、若竹の杜「若山農場」へ移動。若山農場は、東京ドーム5個分の土地に8種類の竹林があり、有名映画やCMのロケ地にもなっている。各竹の特徴についてガイドの説明を聞きながら散策した。

他にも、地下の巨大空間が有名な大谷資料館にて大谷石の採掘場を見学。

竹林・採掘場において、その場所の歴史や道具の進歩、それぞれの素材がもつ特性などを学んだ。

今回、小山工業高等専門学校
の川上勝弥名誉
教授による「セ
メントJIS改正」
についての講習
もあり、有意義
な研修会とな
った。



若山農場が誇る青々とした緑が
美しい竹林前にて